

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0570706606
法人名	医療法人 仁 恵 会
事業所名	グループホーム夕陽の丘
所在地	湯沢市柳田字中嶋227番地の1 (電 話) 0183-79-5158
評価機関名	財団法人秋田県長寿社会振興財団
所在地	秋田市御所野下堤5丁目1-1
訪問調査日	平成21年8月27日

【情報提供票より】 (21年 8月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	13年	4月	1日
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9	人
職員数	9人	常勤8人, 非常勤1人,	常勤換算	8.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,280 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有 (円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	900 円		

(4) 利用者の概要 (8月 1日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	3名	要介護2	5名		
要介護3	0名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 81歳	最低	77歳	最高	86歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	須田医院 ・ 梨木歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム命名の由来となる鳥海山に沈む夕日はホームが誇る景観である。暖かなオレンジ色に染まる夕日のイメージから「いつまでも輝き続ける人生であってほしい」という願いとともに、利用者・家族・介護者が手を取り合うホームのシンボルマークになっている。「自立と相生」の生活理念のもと、利用者と職員は家族のように支え合い、助け合い、お互いに持てる力を出し合って、共に暮らしをつくり上げている。職員と利用者それぞれに信頼関係が築かれて、尊厳が護られている。安全と安心の環境で利用者は穏やかな表情で過ごしている。運営者、管理者、職員は向上意欲を持っており、現状に満足することなく、より良い認知症ケアの在り方を模索している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題は特になかったが、外部評価の結果を踏まえ事業所自ら更なる向上を目指して、独自の改善目標を掲げ、改善策を検討実施している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は、教育に関連する項目と地域交流、貢献に関する項目に集約され、すでに継続して取り組まれているものもある。ホームとして利用者・家族との信頼を深め、より安心できる関係を構築することは重要と認識している。管理者・職員はOJTによる相談援助技術向上に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2カ月ごとに開催される運営推進会議には、利用者家族、地区会長、行政担当職員等が参加している。外部からもホームの運営状況や活動等わかり易いように、利用者の日々の状況や行事等について説明している。また、会議で提案された意見は職員間で共有しサービスの向上に繋げている。特に地域交流や地域貢献の在り方については議題として取り上げ、理解と協力を求めている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	玄関に苦情相談受付を明示している。また、事業所以外の各居宅介護支援事業者や行政等の相談機関も紹介している。職員は利用者や家族とのコミュニケーションの機会を大切にしており、可能な限りゆっくりと会話ができるように努めている。利用者家族への適切な対応や正確な情報提供が日常的にできるように、ホーム全体で相談援助技術のさらなる向上
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域連携促進を課題として、馴染みの地元スーパーを継続的に利用する等近隣との繋がりを大切にしている。また、隣接する老健の夏祭りに参加したり、町内の運動会へ参加したりと、ホーム側からも積極的に交流を深める取り組みを継続している。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らし続けられるよう「自立と相生」を理念に掲げ、自立支援と相互の支え合いで価値ある人生が送れるよう支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の掲示に留まらず、運営者、管理者、職員が理念を理解した上で共有し、それぞれが理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	集落から離れた環境にあるが、近隣のスーパーでの買い物や地域婦人部の定期訪問などを受けながら、地元の人々との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の意義を良く理解しており、評価結果を共有した上で、具体的な方策を掲げて改善に取り組んでいる。職員は自己研鑽し、サービス向上を目指している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2カ月に1回定期的に開催している。家族や行政担当職員等参加者へ利用者の状況やホームの現状をわかり易く報告している。会議での意見や情報は日々のケアに活かし、サービス向上に繋げている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の見守りネットワークに参加することで様々な情報を交換したり、認知症ケアの経験を活かして地域貢献をしている。市の担当者や地域包括支援センターとの連携は利用者へのサービス向上に繋がっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族とは日常的に連絡を取り合っている他、3カ月に1回預かり金の監査報告書とホームだより「けやき」に担当職員の手書きの手紙を添えて利用者の近況を報告している。		相談援助技術のスキルアップを図るためにも家族への報告の機会を増やす取り組みを期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に相談・苦情受付を明示している他、機会あるごとに、相談・苦情等を表出できるよう話し合いの場を設けている。職員は家族との面談を大切にして、家族・利用者の要望を引き出すよう努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は利用者への影響を十分考慮した人事異動を行っている。異動の際は、利用者十分に説明し理解して頂くように努めている。個人面接やストレス対策等を実施するなど、離職を最小限に抑える努力をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の経験や資格により、具体的な目標を設定し、計画的に資格取得や外部研修参加を支援している。研修終了後は報告会を行い職員全員に周知している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の管理者でつくるネットワークに参加したり、運営者自ら主催する研修会に同業者を誘う等相互支援を行いながら、サービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	入居前に見学の機会をつくり雰囲気に馴染んで頂いたり、家族とも十分に話し合ったり、本人・家族が安心して、納得した上でサービス利用が始められるよう配慮している。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員が利用者に野菜の種類を聞いたり、調理方法を教わったりと、職員と利用者は支え合う関係ができている。家庭的な雰囲気の中で、利用者は生き生きとした表情で生活している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は個々の利用者の生活への思いや意向を日常の会話・行動や表情等からくみ取るよう努めており、介護計画に反映させている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族との話し合いを基に、日々のケアから得られる職員の気付きも取り入れチーム全体で介護計画を作成するよう努めている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3カ月ごとの見直しと1カ月ごとの評価を行っている。状態の変化に応じて随時介護計画を更新しており、更新の際利用者の変化が職員全体にわかりやすいよう記録の仕方を工夫している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出、外泊、面会等に利用者や家族の希望や要望を取り入れ柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族や利用者が希望する医療機関への受診を支援しており、主治医や協力医療機関との連携も良く図られている。相談、アドバイスが受けられる薬剤師、看護師も身近におり適切な支援が受けられる環境が整備されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医の協力を得ながら、家族と共に重度化への対応をしている。重度化した際、ホームが提供できる最大のケアと限界について家族にきちんと説明している。運営者は終末期ケアの課題である、医療面や職員教育等整備に取り組む意向がある。		利用者および家族のニーズに応じて、医療連携と終末期ケアに関する職員教育を充実させ、実際の受け入れに結び付くことを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報適切に保管・管理されている。職員は個々の利用者を良く理解して対応しており、一人ひとりの誇りやプライバシーは護られている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々の心身の状況や希望に合わせて、柔軟に対応しながら、日々の暮らしを支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買い出しから調理、配膳、下膳、食器洗いと収納まで、利用者個々の能力に合わせて職員と共に行っている。それぞれが役割を持つことで、食卓に活気がでて、会話が弾んでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	利用者一人ひとりの希望や体調に合わせて、入浴が支援されている。バイタルも確認され、清潔に保たれた浴室で安全な入浴ができている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	季節や行事に合わせた外出や外食、菜園での野菜づくりと収穫、地域のボランティアと交流する時間、日々職員と共に行う家事等、利用者それぞれが有する力を活かし、メリハリのある暮らしを楽しむよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の買い物や菜園の仕事、散歩等の外出は、その日の状況と希望にそって随時行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	日中は施錠せず、センサーのみでさりげない見守りがされている。センサーが反応した場合は、職員がすぐに駆け付けることができる体制である。職員は利用者の心身状況を良く把握しており、鍵をかけないケアが実践されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策の一環として避難訓練は、昼・夜の災害を想定し行っている。地域の消防署の指導・参加を受ける等、利用者と共に災害時の意識を高めている。また、地域の人々の協力が得られるよう推進会議等を通じて働きかけている。		避難訓練参加呼びかけを具体化されることを期待する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の摂取量、栄養バランス等、献立は同一法人の管理栄養士のアドバイスを受けている。職員は利用者個々の好みや嚥下の状況を把握し、食事摂取を促したり、介助することで栄養摂取と水分確保を支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は季節感ある風鈴や暖簾、職員持参の花が飾られ、清潔で気持ち良く整えられている。廊下の壁には利用者が描いた絵や行事の際の写真が掛けられて、家庭的雰囲気を感じる空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者個々の希望が取り入れられ、それぞれに使い慣れた物を持参して使っており、一人ひとりが居心地良く生活できるように配慮されている。		

※ は、重点項目。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----------	----------	-----	---------------------------------	--------------------------	-----------------------------------